

ふかや
市議会
だより
NO. 73 2024. 2. 1

1世帯平均 5,500円 程度の増額
国民健康保険の税率改正
→可決 P2

川本
農業総合
センター廃止
農業者センターは当面継続
→可決 P3

令和7~11年度は
地域振興財団
+シルバー人材センターが運営
公民館・福祉センターの指定管理
→可決 P2

21議員が
一般質問!
P4~14

「発達障害児に対する
現行制度の見直し
を求める意見書」の
提出を求める請願
→採択→議員提案→可決 P3

報酬、期末手当の
20%カット
長期欠席
した議員
→可決 P15

委員会視察 P15
長野・山梨 議会運営
岩手 総務
山形 福祉文教 富山 産業建設

深谷市
公式VTuber
深谷栄一



令和5年12月議会は議案等33件を審議

手数料条例の一部を改正する条例や 令和5年度補正予算など議案等33件を審議



令和5年第4回定例会は11月24日に開会し、12月14日までの21日間の日程で開かれました。今定例会では、市長から29件、議員から3件の議案が提出されました。また、請願1件の提出があり、それぞれ審議を行いました。これらの議案についての審議結果は、3ページの表のとおりです。

廃止

農業総合センター条例

公共施設適正配置計画に基づき施設を廃止するため、関係する条例を廃止するものです。

- Q「避難所として残してほしい」というパブリックコメントが出ていたが、その対応は。
- A ハザードマップ上、水没する地域になるため、埼玉県農林公園を避難所として開設できるよう協定を結び、対応している。
- Q 跡地の活用について方向性を示すべきでは。
- A 隣接する農業者トレーニングセンターは当面の間、存続という結論になった。跡地の活用については、今後検討していく。
- Q 検討していく中で、地域住民の意見をよく聞いていただきたいが、いかがか。
- A 自治会代表や社会教育委員等で組織される検討委員会で議論し、パブリックコメントを実施しているが、情報を収集しながら検討していきたい。

請願の審議結果

▼請願第1号（採択）
「発達障害児に対する現行制度の見直しを求める意見書」の提出を求める請願書
深谷市民間保育協議会会長 河田 増子

賛成討論

発達障害というものを、社会の中に浸透させていくのが一番いいことだと思う。その観点から、「疑い」というところに関わる保育の手間をより厚くするべきだと思っているので、この意見書は提出するべきである。

人事案件

人権擁護委員 笠原 久枝
埼玉県都市ホートレース企業団議会議員 茂木 一郎

議案等の審議結果 12月定例会に提出された議案と審議結果は次のとおりです。

◆市長提案

議案番号	件名	審議結果
第65号	深谷市手数料条例の一部を改正する条例	可決
第66号	深谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
第67号	深谷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決
第68号	深谷市災害派遣手当等の額に関する条例の一部を改正する条例	可決
第69号	深谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
第70号	深谷市農業総合センター条例を廃止する条例	可決
第71号	深谷市川本農機センター条例を廃止する条例	可決
第72号	深谷市農村婦人の家条例を廃止する条例	可決
第73号	深谷市農村公園条例の一部を改正する条例	可決
第74号	深谷市都市公園条例の一部を改正する条例	可決
第75号	深谷市総合支所設置条例の一部を改正する条例	可決
第76号	深谷市深谷テラスパーク条例の一部を改正する条例	可決
第77号	深谷市消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決
第78号	深谷市営グラウンド条例の一部を改正する条例	可決

議案番号	件名	審議結果
第79号	財産の処分について	可決
第80号	指定管理者の指定について	可決
第81号	市道路線の廃止について	可決
第82号	市道路線の認定について	可決
第83号	令和5年度深谷市一般会計補正予算(第7号)	可決
第84号	令和5年度深谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第85号	令和5年度深谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
第86号	令和5年度深谷市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
第87号	深谷市市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	可決
第88号	深谷市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	可決
第89号	深谷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
第90号	令和5年度深谷市一般会計補正予算(第8号)	可決
第91号	令和5年度深谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
第92号	令和5年度深谷市国済寺土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決
第93号	令和5年度深谷市一般会計補正予算(第9号)	可決

◆議員提案

議案番号	件名	審議結果
第2号	深谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
第3号	深谷市議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例	可決
第4号	発達障害児に対する現行制度の見直しを求める意見書	可決

◆請願

請願番号	件名	審議結果
第1号	「発達障害児に対する現行制度の見直しを求める意見書」の提出を求める請願書	採択

全会一致とならなかった提出案件審議結果と各議員の賛否一覧

【○：賛成、×：反対】

議案等	会派名																審議結果								
	深谷同志会																								
議員名	田島秀興	岡仁	柿澤祐介	福島秀樹	今井慶一郎	湯本哲昭	八須由憲	清水健一	角田英夫	富田義徳	茂木一朗	永田勝彦	高田博之	坂本博	繫由香	五間くみ子	佐久間奈々	鈴木三男	山出秀明	加藤利江	小林真	村川徳浩	小泉誠		
国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定管理者の指定について (各生涯学習センター・公民館、誠之堂・清風亭)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は可否同数のみ採決に参加します。

改正

国民健康保険条例

令和6年度国民健康保険税の保険税率等の改正及び産前産後期間相当分の国民健康保険税軽減制度の創設に伴う条例改正です。

- Q 国民健康保険の加入状況は。
- A 令和4年度の加入世帯は1万9,607世帯で、全体の約90パーセントが被保険者1人または2人の世帯である。
- Q 税率改正の影響は、どの程度か。
- A 税率改正により、国保加入世帯の約80パーセント、1万5,944世帯で平均5,500円程度の増額を見込んでいる。
- Q 産前産後期間相当分の国民健康保険税の軽減とは。
- A 令和5年5月に健康保険法等の一部を改正する法律が成立し、創設された産前産後期間相当分の国保税軽減制度を本市においても導入する。軽減対象は、出産する予定、または出産した被保険者で、出産予定日、または出産日が属する月の前月から4か月間分、双子などの多胎妊娠の場合は、出産予定日、または出産日が属する月の3か月前から6か月間の国保税の所得割額及び均等割額を軽減する。

反対討論
法定軽減や産前産後の軽減はあるが、それに該当しない方は、国民健康保険税が現在でも高い。今回は令和6年度の引上げだが、7年度も引上げ予定になっている。経済的に諸物価が上がって大変な状況の中で、国保税の引上げに賛成しかねるため、条例改正には反対である。
鈴木 三男

指定

公民館等の指定管理

各生涯学習センター・公民館及び誠之堂・清風亭の管理に関し、指定管理者を指定するものです。

- Q 公民館における管理業務基準書では、人員配置の具体的な人数が明記されていない。公民館長と職員2名の配置もあり得る様な内容だが、なぜこのように記載したのか。
- A 公民館の人事で法定されているのは館長のみで、他の職員の配置については指定管理者の裁量の範囲としている。管理業務基準書には参考として現在の人員配置を記載し、自治会長会議での意見等を踏まえ地域振興財団と協議し、「業務が安定するまでの間は現在の職員体制を継続する。安定後は、協議をしながらローテーションなどの流動的な職員配置を考えていく。」との回答をいただいている。
- Q 業務が安定した後は協議をして、流動的な人員配置もあり得るとのことだが、その際は市にも協議がされるのか。
- A 人員配置については、年度協定書を結ぶ段階で地域振興財団と協議をしていく。また、毎年度、適正に業務が行われているかモニタリング調査を行い、職員体制についても問題がないか確認しながら検討あるいは提案をしていただく。

反対討論
業務が安定した後は職員の減もあり得る。それは公民館で働く職員の過重負担や市民サービスの低下につながるので反対である。
鈴木 三男

Q 子どもを取り巻く諸問題を解決するため、子ども基本法が施行され、国は、様々な施策を打ち出しているが、思いやりと真心を大切にされた、渋沢栄一翁生誕地にふさわしい、子ども条例を制定し、基本理念を明らかにして地域全体で取り組むべきと思うが考えを聞きたい。

A 子どもの貧困や児童虐待、社会的孤立など、子どもをめぐる環境が悪化し、社会生活を営む上で困難を有する子どもたちの問題が深刻な状況に

Q 特に冬の朝は、カーブミラーが曇って危険だが対策について伺う。

A 雨などの水滴が玉にならず、濡れ広がることで曇りなどを軽減する、コーティングミラーを試験的に設置して、検証を行っていく。



清水 健一



映像はこちらから

A 人身事故が384件、死者数3人である

Q 令和5年の交通事故発生状況を聞きたい。



ある中、子どもの最善の利益を第一に考え、子どもたちの健やかな成長を社会全体で後押ししていくため、子ども施策の基本理念を市全体で共有していく事は重要な意味を持つ事から、条例の制定を基本に渋沢栄一翁の生誕地である深谷らしい基本理念の在り方と共に研究していく。

Q 子ども基本法では、子どもに関する施策を策定する場合、子どもをはじめ、養育する者及び関係者の意見を反映するように求めているが、どの様に取り入れていくのか伺う。

A アンケート調査や若者による意見交換会、パブリックコメントを実施し、広く意見を募集していく。



市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧 (通告順)

スマートフォンなどをお持ちの方は、氏名の下QRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

- | | | |
|--|---|---|
| 加藤 利江P4
・新一万円札発行にむけて
・みかんの花咲く丘
・飼料等価格高騰対策
・防犯対策 | 田口 英夫P8
・深谷市の文化振興 | 村川 徳浩P12
・花園IC拠点整備プロジェクト
・深谷市幼稚園・こども館複合施設建設
・コミュニティバス「くるりん」 |
| 清水 健一P5
・市民の交通安全
・こどもの幸せ | 田島 秀興P8
・市のPR
・婚活応援 | 湯本 哲昭P12
・公民館管理運営
・小中学校への新聞配備 |
| 柿澤 祐介P5
・子ども支援
・災害対策 | 坂本 博P9
・本市における高齢者
・深谷駅市民ギャラリー | 佐久間 奈々P13
・生活保護受給者の医療扶助
・公共施設適正配置計画 |
| 永田 勝彦P6
・空き家対策
・人口増対策 | 繫 由香P9
・「産後ケア」事業 | 鈴木 三男P13
・学校費用の公会計化
・子育て支援
・通電火災 |
| 山出 秀明P6
・ネギーのポイントバックキャンペーン
・深谷駅周辺の公園計画 | 五間 くみ子P10
・地域包括ケアシステムの構築に向けて
・認知症対策
・投票所の環境改善 | 小林 真P14
・小規模学校地域のよりよい教育環境
・食社会、リサイクルの充実
・農業持続と農業振興地域の再考 |
| 岡 仁P7
・「くるりん」バス利用
・中学校の部活 | 八須 由憲P10
・渋沢栄一翁の顕彰と地域の活性化
・公立中学校における「部活動地域移行」 | 高田 博之P14
・道路の新設
・道路の整備 |
| 福島 秀樹P7
・深谷市総合体育館(深谷ビッグタートル)
・交通施策 | 小泉 誠P11
・深谷市の移住定住促進 | 角田 義徳P11
・高齢者福祉政策
・地方創生
・ICTを活用した行政参加 |

「市政のここが聞きたい」の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております

Q 第2期子ども・子育て支援事業計画、着実な成果は出ているのか。

A 概ね計画の範囲内で推移している。

Q 「子どもの居場所づくり」の取り組みとして、市として協力頂いている団体・企業・個人との連携は取れているのか。

A 「子どもの居場所づくり」に取り組む団体の活動を側面から支援している。

Q 貧困家庭を救う支援策として、経済支援以外の政策は取り組んでいるのか。

A 生活支援として子ども家庭総合支援拠点の設置や養育費個別相談会の実施、就労支援として母子家庭等自立支援事業の実施、教育支援として「子どもの学習・生活支援事業未来応援教室(ばるスタ)」等の事業を実施している。関係各課と連携して子どもの貧困対策に取り組んでいく。



柿澤 祐介



映像はこちらから

A 令和6年2月に子どもの生活実態調査を実施する

Q 子どもの貧困対策について



る状況である。

Q 災害時における情報配信について

A 包括連携協定に基づき、市が発信する災害情報の配信にご協力頂く事になっている。また令和4年度からは深谷コミュニティエフエムと深谷青年会議所、社会福祉協議会の3者と定期的に情報交換を行っている。

Q 防災ラジオについて

A 情報伝達手段の一つとして有効なものであると考えている。

A 難しいが、今後も誘致の取組を行っていく

Q 新一万円札発行に向けてラジオ体操の誘致としては

Q NHKのラジオ体操の中継を市内で行うよう働きかけをして頂きたい。

A 市としてもラジオ体操の巡回放送誘致は新札発行に向けた市内の機運醸成の取組として、絶好の機会になると考えている。しかしながら令和6年のラジオ体操の巡回放送については、全て開催会場が決定しており、申し込みは終了しているとのことである。新札発行年度におけるラジオ体操の誘致は難しいが、今後も渋沢栄一や深谷市を広くPRするため、誘致の取組を行っていく。

Q 渋沢国際学園を復活させる事は出来ないか。

A 「中の家」敷地で開校した渋沢国際学園は民間の学校で、閉校後に土地と建物は市に帰属した。主屋は改修等工事を経て令和5年8月から一般公開している。敷地内の西側施



加藤 利江



映像はこちらから

設で市が運営する日本語学校は考えていない。

Q みかんの花咲く丘について

A 自立たない場所に碑があるだけではとてももったいないと思うが。

A 今後広く周知するための方法を研究していく。

Q 飼料等価格高騰対策について

A 今後の農業経営支援方針について、詳しくお尋ねしたい。

A 先日、国の補正予算が成立した為、この交付金の活用を含め、支援の在り方を検討していく。



Q

空き家等の相談可能なセクションを設けたらいいかがか



ひこ かつ 彦 勝 田 永



映像はこちらから

A 市民が気軽に活用の相談ができるよう周知し対応する

Q 空き家と思われる建物を散見する。まだまだ活用可と思える建物。所有者に活用を視野にと希望する。市として空き家等の相談可能なセクションを設けたらいいかがか。

A 平成29年度に協働推進部自治振興課内に空家対策係を新設し、空き家に関する様々な相談に対応する窓口を設置しており、常時相談を受け付けているほか、不動産団体や司法書士会など協力のもと、相談会を開催し、多くの方の相談を受けている。今年度は、広報ふかや7月号に「空き家問題」について特集記事を掲載し、空き家の適正な管理や活用等の啓発を行い、市民から活用等に関する問合せや相談も多くなっている。今後とも、空き家の相談窓口や対策については市民に分かりやすく周知するとともに、気軽に活用の相談ができるよう対応していく。

●人口増対策について

Q 本市の人口増を図るため、どのような対策を講じているか。

A 「人口増加」ではなく、「人口減少の抑制」としてまちづくりを行っている。まずは、まちの魅力を高めることが重要であり、特にSDGsの視点をもった、5つの主要プロジェクトを掲げており、このひとつとして、「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進」に取り組んでいる。引き続き、まちの魅力を高めていくことにより、人口減少の抑制につなげ、持続可能なまちづくりを進めていく。



Q

ポイントバックキャンペーンの予算について



あき ひで 秀 明 出 山 徳



映像はこちらから

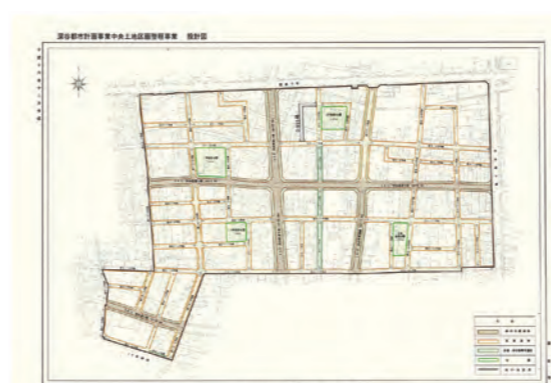
A 9月の補正予算で議決済み

Q 令和5年12月実施の地域通貨ポイントバックキャンペーンの予算が2億円とあるが、増額はできないか。

A 20%ポイントバック分の経費として2億円を計上している。この予算は令和5年9月議会において補正予算として議決済みである。

Q 8月の県知事選のネギチャレンジについてのアンケート結果より、ポイントバック率を上げてほしい、期間が短すぎる、このようなチャレンジをまたやって欲しいなどの回答が多数あるが、近いうちにまた実施する予定はあるのか。

A このキャンペーンは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源としている。来年度は通常の財源となるので、経済動向をみながら必要性があるかどうかでも考慮し、検討していく。



中央土地区画整理事業設計図

Q

川本南地区の「へるりん」バスを山形県南陽市沖郷地区で運行しているデマンドタクシーのように運営方法を検討出来ないか。



おか ひとし 岡 仁



映像はこちらから

A 多角的な視点から調査、研究を行っていく

Q 川本南地区の「へるりん」バスを山形県南陽市沖郷地区で運行しているデマンドタクシーのように運営方法を検討出来ないか。

A 南陽市沖郷地区は公共交通の空白地域であった。深谷市は「へるりん」定期路線とデマンドバスにより、空白地域はない。南陽市のデマンドタクシー形態は、「ドアツードア」という点は優れているが、「利用対象が60歳以上」「運行時間が平日8時〜17時」「利用料金1回500円」とサービスが限定されている状況。デマンドタクシーの導入については、多角的な視点から調査、研究を行っていく。

Q

深谷ビッグタートルのエアコンの更新・改修について



ひで き 秀 樹 島 福



映像はこちらから

A 専門業者に確認するなど、様々な対応を検討する

Q エアコン等の設備の老朽化について市の考えは。

A 深谷ビッグタートルは1993年(平成5年)に竣工し、今年で築30年を迎え、経年による設備等の老朽化が見受けられるものの、定期的な保守点検や小規模な修繕等を実施しながら日々運営している。今年8月に利用者よりエアコンの効きの悪さを指摘されたことを受け、エアコンの保守点検業者に調査を依頼したところ、大きな故障はないものの、冷えきらない状況については、伝熱管内の経年汚れによる伝熱性能の低下によるものと考えられ、清掃により改善が見込まれることから、まずは機器の清掃及び点検の実施を検討していく。また、本施設は屋内体育施設として県下でも有数の規模を誇り、プロスポーツチームによる興行や、全国規模の大会から市民大

会まで幅広く開催される施設であることから、各種設備や機器等についても、指定管理者を含めて、修繕や更新等を計画的に実施していく。
Q 本施設は災害時の避難所として指定されているが、エアコンの必要性についてどのように考えているか。
A エアコンの不具合は、平時の利用はもとより、災害時の避難生活にも影響が及ぶものと考えている。エアコンの早期の清掃及び点検の実施を検討すると共に、今後どのように対応していくことがいいのか様々検討し、避難者が安全かつ安心に滞在できるように努めていく。



●中学校の部活動改革(地域移行型)
Q 中学校の部活動改革(地域移行型)について、本市の状況は。
A 本年11月中旬より休日の活動を

●深谷駅周辺の公園計画について
Q 深谷駅周辺の公園計画について予定地として4か所あるが、どのような方針で計画を進めて行くのか。
A 深谷駅周辺の公園整備については、現在、進められている土地区画整理事業の中で4か所の公園を新規に計画している。地域住民の利用を目的とする街区公園として計画している公園整備の方針については、その時の利用者ニーズや時代背景を踏まえ、検討していきたいと考えている。



Q

民俗文化財や昔の風景写真等の保存活用の検討を



大田 英夫



映像はこちらから

A デジタルアーカイブの利便性向上を調査研究していく

Q デジタルミュージアムのさらなる活用を検討してはどうか。

A 市のホームページで「ふかやデジタルミュージアム」として公開しているが、作品を詳しく鑑賞できない状態にあり、見せ方の工夫が必要と考えている。

Q デジタルアーカイブの活用で、民俗文化財や昔の深谷の風景写真などの保存活用を検討してはどうか。

A 市指定の無形民俗文化財については、動画で記録しホームページに掲載している。昔の風景写真等の地域の情報を記録したのも、文化の継承と振興に重要である。さらなる充実のため、調査研究を行っていく。



和菓子作り体験教室

Q

ふかやえんむすびネットワークにおける市の関与は



大田 秀興



映像はこちらから

A 会員団体に婚活イベントの情報を提供している

●市の観光PRについて

Q 市の特産品や観光のPRについて、ホームページやSNSなどで乱立しているが簡潔に一つにまとめる必要があるのではないかと。

A 本市では、市のホームページを中心に情報発信を行うほか、特設サイトやSNSが作成され、より詳しい情報を発信している。特産品や観光に関するページとしては「深谷市魅力発信ポータルサイト」や「深谷ガイド」を設け情報を発信している。また、このたび開始した「深谷市公式LINE」では、特設サイトやSNSも含め、主要な情報にアクセスできるように、情報の集約化を図っている。



Q

デジタルアーカイブの利便性向上を調査研究していく



大田 秀興



映像はこちらから

A 会員団体に婚活イベントの情報を提供している

●市の観光PRについて

Q 市の特産品や観光のPRについて、ホームページやSNSなどで乱立しているが簡潔に一つにまとめる必要があるのではないかと。

A 本市では、市のホームページを中心に情報発信を行うほか、特設サイトやSNSが作成され、より詳しい情報を発信している。特産品や観光に関するページとしては「深谷市魅力発信ポータルサイト」や「深谷ガイド」を設け情報を発信している。また、このたび開始した「深谷市公式LINE」では、特設サイトやSNSも含め、主要な情報にアクセスできるように、情報の集約化を図っている。

Q 和菓子作り体験教室の内容は。
A 伝統的な食文化に触れる機会の提供として、小学4年生～6年生を対象に、季節の練りきりを作った。
Q 文化美術的な作品を常設的に展示できるような美術館の考えは。
A 美術館は、すぐれた作品を間近に見て、豊かな感性を育てる場であり、重要であると認識しているが、建設費や維持管理費が多額になるため、建設する予定はない。

Q 高齢の買い物困難者への福祉的対応について

A 社会福祉協議会の企画で移動販売車を運行している



坂本 ひろし



映像はこちらから

りを推進して参りたいと考えている。

●深谷駅市民ギャラリーについて
Q 高校生用のフリースペースとしての利用は可能か。

A 深谷駅市民ギャラリーは、市内外の皆様から様々な用途で利用されている。本年4月から9月まで、今後の施設利用における需要や課題把握を目的に、「トライアル・サウンディング調査」を実施し、10の民間事業者が参加した。今後は、この調査結果等を検証し、多角的な視点で活用を検討する。

Q 「産後ケア」事業について

A 深谷市母子健康包括支援センターで支援を行っている



繋 由香



映像はこちらから

であった。その内17人が「宿泊型」の利用である。

Q 増え続ける児童虐待。「産後うつ」を防ぐことで、児童虐待も減少すると思われるが、子育てをしながら家事に追われる親に対しての家事支援を、本市は今後どの様に考えているのか。

A 「産後うつ」発症の背景には、育児不安のみならず、家事等による負担も関連があると考え、家事支援を希望する産婦の状況を把握するなど、調査・研究していく。

Q 今後、他市同様に民間事業者と福祉的な協定を結ぶ考えはあるか。
A 民間事業者は、移動販売車の運行を社会貢献活動と位置付けており、自主的に見守り活動を行っている事業者もいる。この状況は、本市が目指す高齢者のための生活支援体制整備事業として機能していることから、新たに協定を結ぶことは、現在、考えていないが、高齢者の生活支援のため、地域の支え合い体制作



Q 本市が行っている「産後ケア」事業について、具体的な取組内容は。
A 平成29年7月に事業を開始し、現在は、生後12か月未満の乳児と産婦に対し、産後の体調不良や育児不安の解消を図るため、産科医療機関等に事業を委託し、育児サポート等を行っている。事業の内容としては「宿泊型」「日帰り型」「訪問型」があり、令和4年度の利用者は20人



Q

地域課題を超えたものは市で早期解決を

A

すべて解決が図れないが真摯に取り組む



こま ぐみ子



映像はこちらから

生活支援体制整備事業は、地域ごとの課題を話し合う場(第2層協議体を作り、課題解決のため必要なサービスへとつなげていく仕組み)だと思いが、例えば、高齢者のごみ出しなど、現在ないサービスについてどう対処するのか。

互助・共助の観点から、第2層協議体において地域課題を話し合い、市域全体については第1層協議体で協議する。そこで、課題解決しないものは、地域ケア推進会議で問題提起する。互助・共助を超え、公助については、行政等が協議していく。

●認知症対策、早期受診の環境を

市ホームページに公開している認知症チェックシステムから、受診されたか把握するなど、かかわりの持てる環境整備はできないか。

無記名であり、受診状況の把握はできていないが、早期受診を促すための対策は研究していきたい。

●投票所、大胆な見直しを

投票区の決定方法と、現在の投票所の数は。

投票区は、過去からの経緯等により、市選挙管理委員会決定、現在は31か所。

共通投票所制度を導入した上で、投票所数を大幅に見直し減少させ、削減した経費で、移動支援サービスの導入を図れないか。

市内の状況や先進的事例等を参考にしながら、調査研究していきたい。



埼玉県公式チャンネル(サイタマどうが)

Q

「深谷栄一」というキャラクターについて伺う

A

若い世代に栄一翁を身近に知ってもらうため制作した



よしのり 憲 由 八須



映像はこちらから

深谷市公式YouTubeチャンネルとして、YouTube上で動画配信しているが、その効果と今後の取組は。

動画をきっかけに深谷市を訪れた方もいる。また、民間事業者がキャラクター商品を作成し道の駅などで販売を始めている。今後は、顔出しパネル作成のほか、他のご当地YouTubeとのコラボや、深谷市の歴史や文化など市全体を紹介するような動画の投稿も検討していく。

●沢沢栄一翁の顕彰

青洲公園内に栄一翁の言葉の看板が設置されている。文字、イラストも古く看板の劣化、傷、色あせ等がある。リニューアルできないか。

栄一翁の没後80年に合わせて制作したもので、設置後11年が経ち、ヒビ割れや色あせ等、劣化している状態である。看板の対応については



深谷栄一翁が大好きな 深谷市公式Vtuber 深谷栄一 Fukaya Eiichi

関係部署とリニューアルを含めて検討する。

「論語の里」としての景観を感じられるようにできないか。

沢沢栄一翁や「論語の里」について、より理解していただけるような説明看板を効果的に設置出来るよう、看板の位置や内容を踏まえながら調査・研究していく。

保存されている未公開の栄一翁関連の書物や物品、郷土資料などの活用について、市の見解を聞く。

沢沢栄一記念館の沢沢栄一資料室にて、その時々テーマを設定した「企画展示」の他、「収蔵品展」を開催していく。

Q

大学等卒業生への奨学金返済補助は検討に値するか

A

他自治体の実績や効果を見ながら検討していきたい



こいずみ まこと 小泉 誠



映像はこちらから

深谷市では人口減少が続いている。現在、若年層の人口減少対策として、どんな施策をとっているか。

保育料完全無料化、母子健康包括支援センター開設、幼稚園・こども館複合施設建設など、20代から30代の子育て世代に重点をおいた移住・定住推進施策を進めている。

20代・30代の新社会人を直接対象とするような支援策はあるか。

令和3年度は20代30代の転入・転入に改善の傾向が見られる。これはまちの魅力アップさせる各種施策によるものと考えられる。直接20代に向けた施策を推進するよりも、引き続き現在の施策に力を入れていきたい。

毛呂山町は若年層の定住・移住促進を目的として「年額最大10万円×5年間」の奨学金返済補助事業を行っている。この事業は、国の交付

金と対象者の住民税を財源としている。費用対効果という観点からも、深谷市でも検討に値するよいアイデアと考えるが、若年層の定住策にはある程度の効果があると思われるが、移住策としては、なかなか効果があらわれないものと考えている。市として引き続き他の自治体の動向や実績等に注視しながら、今後の対応について検討していきたい。



Q

シルバースポーツの普及促進に力を入れるべきでは

A

令和6年度の事業において試行的に実施したい



つのだ よしのり 角田 義徳



映像はこちらから

深谷市生き生きシニア世代応援事業において、試行的に実施することだが、詳細を聞きたい。

例年、敬老月間が終わった秋以降に実施している。場所は市役所会議室等の公共施設で開催し、定員は20人から60人規模を予定している。

●地方創生について

REASAS(地域経済分析システム)の活用について、平成29年第1回定例会での答弁で、職員に対して積極的に活用するよう今後周知していくとのことであったがその後はどうか。また、ビッグデータを分析して導き出した根拠を基に、本市として何かしらの施策を打ち出したか。

平成30年度に、関係職員に対して、関東経済産業局による出前講座を開催するほか、活用状況調査を

通じて周知するなど、様々な機会を通じて、REASASの活用促進を図ってきた。活用状況については、主に計画策定にあたり、基礎調査を実施する際などにREASASを用いて情報収集や比較・分析を行っている。

●ICTを活用した行政参加

道路等の損傷箇所の通報方法について、全国の自治体でスマホアプリを活用しての通報システムが増えている。本市への導入の可能性は。

独自アプリの導入は考えていないが、国土交通省が11月から運用を開始したLINEアプリと連携する。このアプリは深谷市公式LINEの「道路損傷通報」から利用できる。



Q

複合施設についてアンケート調査を行うべきでは

A

情報提供や意見募集を行ってきたと認識している



おやし 徳 浩



映像は こちらから

産業ブランド推進室が進めてきた「ベジタブルテーマパークフカヤ」による市内回遊の取組と、相乗効果を生み出すように指定管理者と調整を進めている。

●ゆるコンの運行について

幡羅地区から熊谷方面へ向かう行政またぎのバス運行について、市民からの要望が多いことから、市は早急に実現に向けて検討を始めるべきではないか。

現時点では課題があるが、民間バス事業者より、幡羅地区を経由し籠原駅へ乗り入れる路線バスの新規運行に関心が有る旨の情報提供をいただき、協議を進めている。



深谷市内のNPO 法人うるおいのまち主催

現状では根腐れ等の心配はなく、ホームページやパブリックコメントで情報提供や意見募集を行ってきたと認識しているので考えていない。

●深谷テラスの指定管理者について

深谷テラスの指定管理者は、予算ゼロで3万人を集客した本庄市のクラフトアートフェア等を参考にし、自主事業を行うべきではないか。

Q

指定管理者制度導入後の公民館運営について

A

地域密着の施設運営とより充実した事業展開を目指す



あき 哲 昭



映像は こちらから

ター共同事業体が持つノウハウを活かすとはどのようなことか。

公共的団体の事務局、公共施設の管理運営、公民館の受付業務などの実績やノウハウを活かし、地域に密着した公民館運営が可能である。

指定管理者が持つ民間ノウハウとは、どんなものか。

具体的には、元プロ野球選手・全国大会出場経験者などによる各種スポーツ教室や健康増進に効果があるヨガ教室などの自主事業の実績があり、地域や利用者のニーズにあった事業展開を期待している。



指定管理者制度導入に対するその他の意見はあったのか。

「指定管理者になると市の職員がいなくなるのではないか」「地区センター業務の引き継ぎがどう行われるか」「民間業者の運営になるため、配置人員が削減されるのではないか」「営利優先の運営になり地域の人が利用しにくくなるのでは」「などの不安の声があったが、丁寧に説明し理解を得られた。

指定管理者となる深谷市地域振興財団・深谷市シルバー人材セン

Q

学校給食費の徴収は、市で集める公会計化の導入を

A

教職員の負担軽減を考慮し、他市参考に検討したい



みつ 三 男 鈴木



映像は こちらから

中央教育審議会は、学校給食費の徴収管理を「学校や教員の本来業務ではなく、自治体の業務とすべき」との答申を受けて、文科省は、学校給食費の公会計化の導入を呼び掛けているが、深谷市の学校給食費の徴収管理はどうなっているのか。

市の歳入歳出としない私会計として、各学校が給食費の徴収・管理を行っている。令和3年5月の県の調査では、すべての学校で公会計が33、その内自校方式の自治体が一つある。一部の学校のみ公会計が4、すべての学校で私会計が26で公会計化率は、約6割である。深谷市の各学校で給食費の発注や支払いは、栄養士と学校事務職員で協力して行い、給食費未納の対応は、主に管理職と学校事務職員で行っている。

学校給食費の公会計化を導入する考えはあるのか。

文科省は、公会計化の効果として教職員の業務負担の軽減、納付方法の多様化による利便性の向上、透明性の向上等をあげているが、システムの導入と運用の経費、給食費の徴収・管理を行う職員の確保等の課題がある。また、公会計化により給食費の徴収率が下がり、市の持ち出しが増える課題もある。深谷市は現在各学校の給食費の徴収・管理の状況、システム導入の経費などの情報収集に努めている。公会計化を導入している自治体の取組を参考に検討していきたい。

滞納は、どれくらいあるのか。

36人の57万6千円である。



学校給食費は無償化に

Q

公共施設適正配置計画について

廃止方針である施設が廃止決定

令和6年3月より医療扶助のオンライン資格確認が開始される。これにより生活保護受給者が医療を受ける際「医療券」が必要なくなる。しかしある自治体で、医療扶助のオンライン資格確認のチラシを配布したところ、マイナンバーカードがない方に対しての説明がなかったため、誤解や不安を市民に与えてしまった。そこで深谷市では、丁寧な説明を行うべきだと思いが見解を伺う。



なな 間 佐



映像は こちらから

A

誤解や不安を与えないよう十分な周知を行う

されるまでに、どの様な検討がされるのか。また、川本トレンスは廃止時期の検討に入っているのか。

施設毎に廃止理由が異なるため、ケース毎の対応となる。また、川本トレンスについては現時点では運営を継続し、今後利用者の減少や施設に不具合が生じた場合には廃止を検討することになると思う。

花園情報交流図書館アクロスは、複合化方針で、建物は廃止又は用途変更だが、花園地域に複合化できる施設が無いと思われる。何の施設と複合化する考えなのか。

具体的には決まっていすが、計画期間の令和14年までに市にとって必要な施設との複合化を検討したい。



第2次深谷市公共施設適正配置計画

Q

小規模小中学校統廃合検討の現状は



こばやし まこと
小林 真



映像はこちらから

A 現在のところ方針などの策定にはいたっていない

など財産処分ができない。当時ハウスを活用した約1,000軒のうち、17件が財産処分し1件が補助金を返還している。

Q 農地中間管理機構の活用状況は。

A 埼玉県では農林公社が指定され、市内11地区で利用されている。

Q 地域発生型の法人は課題をリアルに把握できるが支援策はあるか。

A 市内に例はないが対応する。

Q 後継者不足が課題の農業は、従来にない農業スタイルが待たれるが、農振除外が必要ともあり、その実績は。

A 申出件数は令和4年度で75件。



福川(城北川)右岸、2021年9月夕方の田園風景

Q

原郷上野台線アンダーパス通りの深谷BPPへの接続は



たかだ ひろき
高田 博之



映像はこちらから

A 現時点で計画はないが今後その必要性を検討していく

所有者の同意が得られず休止している。県では土地所有者の同意が得られ整備の見通しが立てば事業を復活させたい意向である。

●唐沢川8号橋から西へ向かった210Mの区間の道路の整備を

Q 旧小山川の南側を通り唐沢川8号橋から高畑へ至る区間は現状では民地を通行している状態である。併行して現存する市道B-400号を通行出来る様整備を求めらる。

A 年数経過により境界の復元が難しいことや、起伏があり土留めが必要となり砂利を敷くだけでは難しいため、早急な整備は困難である。



Q 都市計画道路の南通り、東通り線は完了しているが、北通り線は県道深谷飯塚線から中央通り線までまだ手付かずのままである。西通り線は計画のままでも進んでいない。南北のアクセスのため深谷バイパスへ接続してはどうか。

A 「県道深谷飯塚線」から「中央通り線」まで約550Mが未整備となっている。まずはこちらの道路(北通り線)の整備を優先させるべきであると考えている。

●県道「成塚中瀬線」の整備再開は

Q 小山橋の北側からの接続が、30年間止まったままである。北への早期接続を望む。

A 小山橋の北側から「県道本庄妻沼線」の交差点の区間延長960Mが県により計画されている。バイパス整備を行う区間530Mは、土地

『議会改革の取組』

議長から議会改革に関する諮問を受け、議長を除く全議員で構成する議会改革委員会(委員長に角田義徳委員、副委員長に柿澤祐介委員)を令和5年7月から計5回にわたり開催しました。

○諮問事項
「長期欠席議員に係る議員報酬のあり方について」

○検討結果
「市議会の会議等を長期欠席した場合等における議員報酬及び期末手当の減額等を実施すべき」との答申案を全会一致で採択しました。
その後、12月議会において、議員提出議案として「深谷市議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例」を提出し、全会一致で可決しました。

「深谷市議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例」の主な内容は次のとおりです。

- ①長期欠席とは
療養その他の事由により、90日を超える期間にわたり議会の会議等を全て欠席すること
- ②議員報酬、期末手当の減額割合

長期欠席期間	減額割合
90日を超え180日以下であるとき	100分の20
180日を超え365日以下であるとき	100分の30
365日を超えるとき	100分の50

※期末手当は、基準日(6月1日及び12月1日)の6か月以内の期間において、議員報酬が減額された月があるときは、報酬の減額と同様の割合で減額されます。

③議員が刑事事件の被疑者又は被告人として逮捕、勾留等の処分を受けた場合、議員報酬、期末手当の支給停止、不支給等となります。



10.26~10.27

●視察先
長野県諏訪市
山梨県甲府市
議会改革の取組その他
議会運営について



議会編隊

視察報告

福祉文教

産業建設



10.10~10.12

●視察先
湯本 哲昭
岩手県田野畑村
災害復興の取組について
岩手県宮古市
宮古市の防災体制づくりについて
岩手県北上市
市民協働の推進と地域交流センターについて
協働のまちづくり事業について

総務



10.3~10.5

●視察先
福島 秀樹
山形県南陽市
山形県東根市
「公益文化施設まなびあテラス」について
山形県米沢市
上杉鷹山の教えを取り入れた道徳教育について

福祉文教

産業建設



10.3~10.5

●視察先
田口 英夫
富山県氷見市
道の駅「ひみ番屋街」について
富山県高岡市
新高岡駅周辺整備事業について
富山県射水市
地域公共交通について

福祉文教

産業建設

議会のうごき



10月

行事内容

- 25(水) 議会改革委員会
議員全員協議会
- ・アグリテック交流施設の開所について
 - ・深谷市幼稚園・こども館複合施設基本設計について

11月

行事内容

- 17(金) 議会運営委員会
議員全員協議会
- ・『深谷市公式LINE』の開設について
 - ・特定空家等に対する行政代執行の実施について
 - ・深谷市国民健康保険税の保険税率等の改正について
 - ・川本農業総合地域施設、川本農民センター及び川本農村婦人の家の廃止について
 - ・地域通貨ネギーによるポイントバックキャンペーンの実施について
 - ・自動運転バス試乗会の開催について
 - ・消防組織再編について
 - ・ホフマン輪窯6号窯等の保存修理について
- 24(金) 議会運営委員会
議会開会、議案説明
- 29(水) 議案質疑

12月

行事内容

- 1(金) 総務委員会
- 4(月) 福祉文教委員会
- 5(火) 産業建設委員会
- 8(金) 一般質問
- 11(月) 一般質問
- 12(火) 一般質問
- 14(木) 議会運営委員会
採決、議会閉会
議員全員協議会
- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)について
 - ・農業振興地域整備計画・農用地(青地)の見直しについて
 - ・ネギーチャレンジ第二弾の実施について

3月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22	23	24
			(開会) 議案説明			
25	26	27	28	29	3/1	2
	議案説明		議案質疑	議案質疑	総務委員会	
3	4	5	6	7	8	9
	福祉文教委員会	産業建設委員会	予算特別委員会	予算特別委員会		
10	11	12	13	14	15	16
		一般質問	一般質問	一般質問		
17	18	19	20	21	22	23
	採決(閉会)					

ふかや発見



今号の表紙は
深谷市初の公式VTuber「深谷栄一」です。渋沢栄一翁をこよなく尊敬する青年が深谷市の魅力を動画で好評配信中!

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、犠牲となられた方々におくやみを申し上げるとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

深谷市議会

編集後記



皆さま、今回の“議会だより”はいかがでしたか？

第4回定例会では21人の一般質問の他、沢山の条例の審議が行われました。例えば市役所に行かなくても、コンビニエンスストアの端末機から各種証明書を発行できるサービス（マイナンバーカードが必要）。この発行手数料が3月からお安くなります！

私も先日利用しましたが、思っていたより操作は簡単でした。

新一万円札の発行日も7月3日に決定し、今年も深谷市は進化を続けます！

繫 由香

編集委員会

- [編集責任者] 議長 茂木 一郎
[委員長] 田口 英夫 [副委員長] 佐久間 奈々
[委員] 田島 秀興 福島 秀樹 八須 由憲
小林 真 山出 秀明 繫 由香

議会の生中継・録画配信
<http://fukaya.gijiroku.com>

